

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費 [ケアラー支援事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	4	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課					地域包括ケア推進		係	課長名	石嶋 洋平		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	ケアラー（介護を要する者の介護を無償でしている者）及び介護を要する認知症の者、高齢者等					東大和市人口						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
- 孤立を防ぎ、その悩みや不安が軽減されている - 必要とされる支援につながっている - 認知症や介護に関する情報を得ることができている					→					- こころの相談利用者数（利用者11人、相談延件数12件） - ケアラースカフェ利用者数（参加者数23人） - 講演会等参加者数（参加者数39人）		
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
①こころの相談（介護に対する気持ちの整理方法、認知症への不安や悩み等の相談を予約制で実施） ②ケアラースカフェ（それぞれの不安や悩みを話し合うと共に、認知症・介護に関するミニ講座を楽しむことができる交流の場） ③講演会等（認知症の症状や介護一般に関する情報を提供する講演会等を実施）					→					①事業実施時間内に常時受付 ②6回（月1の定期開催6回、臨時開催無し） ③2回		
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,266	85,294	85,086						
	成果指標	②の数値	人	104	94	73						
	目 標	②の目標値	人	265	200	200						
目標値設定の考え方												
コロナ禍以前の利用者及び参加者数に戻す。												
活動指標		③の数値	回	①常時受付 ②11回 ③1回	①常時受付 ②13回 ③1回	①常時受付 ②6回 ③2回						
3 経費	事業費（実績）		円	4,500,000	4,500,000	647,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	2,250,000	2,250,000	324,000						
		特定財源（国・都・他）	円	2,250,000	2,250,000	323,000						
		（うち受益者負担）	円	0	0	0						
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	2,514,000	2,514,000	2,475,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	7,014,000	7,014,000	3,122,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		28 年度									
	(2) 環境の変化 新型コロナウイルス感染症影響で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などが発令されるたび、飲食を伴うカフェの中止が続いている。動画を使ったミニ講座など工夫しているが、今後オンラインも含めて感染防止措置を取った開催方法を検討する必要がある。											

事業名称	高齢者日常生活支援事業費〔ケアラー支援事業〕			
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課	地域包括ケア推進	係	課長名 石嶋 洋平

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について カフェに参加した方の中には、ただ泣いて帰られる方もいるが、それだけ抱え込んでいる気持ちがあり、この事業でその気持ちを吐き出す場を作れているのであれば、より多くの方に参加してもらえるとよい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：③、⑥、⑦		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報 ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 新型コロナウイルス感染症の影響が続き、月1回のケアラースカフェのうち6回が中止になった。その中でも、市民の自主グループが再開し、無事継続している様子が見られ、市報掲載や場の提供といった支援を続けている。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ・検討に基づいた市民への周知活動を行う。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ・多摩モノレール駅の掲示板への掲示や、市役所ロビーのコミュニティビジョンを使った紹介を実施した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・感染状況に左右されない開催方法を検討する。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ケアラー支援事業への潜在的な需要はあると思われるので、現在ケアラーでない方も含めて、ケアラー支援事業の周知を進めていく必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	オンラインも含めた新しい取組と、実施のための周知活動。			